

令和6年 御影こども園の教育・保育 <<診断編>>

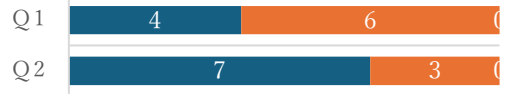
教育・保育目標 げんきな子・やさしい子・がんばる子

■できている ■一部改善が必要 ■できていない

教育・保育目標について

- 園の教育・保育理念や目標及び重要項目を理解している。
- 目標は社会の要請や保護者の願いを反映している。

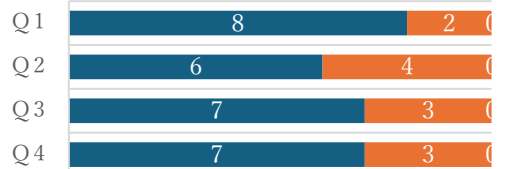
職員は、教育・保育目標を理解しているが意識しながら保育しているかという部分では今後重点的に取り組みが必要と感じています。



教育・保育の計画について

- 教育・保育理念や目標に基づいて指導計画を作成している。
- 行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施している。
- 一日の流れ（デイリープログラム）は幼児の実態や育ちを基に見通している。
- 評価や反省を基に、指導計画を見直している。

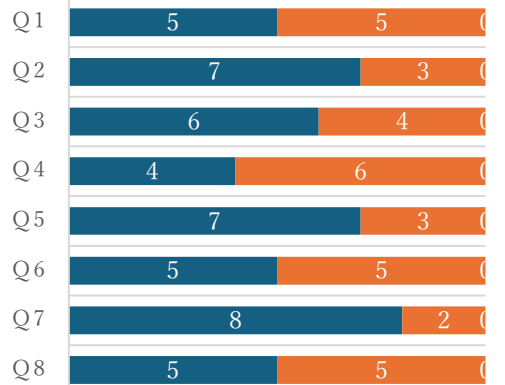
保育過程を基に計画を立て、子どもの実態に合わせて反省・見直しを行っています。今後も行事のねらいが達成できるような保育の工夫をしていきます。



教育・保育内容について

- 子ども一人一人の健康状態や発育・発達状況を把握し、職員間で共有されている。
- 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるように留意している。
- 子どもにふさわしい食生活が展開されるように食事について見直しや改善を行っている。
- 子どもが主体的に活動できるような人的、物的環境が整備されている。
- 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。
- 健康・安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えている。
- 子どもが自ら周囲の様々な環境にかかわり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めている。
- 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育・保育の内容や方法が配慮されている。

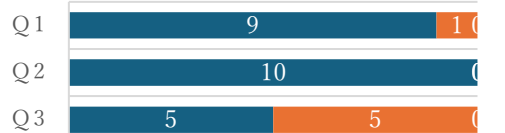
育児担当制を通して一人一人に寄り添った保育を行ってきました。3歳以上児の保育では子どもが主体的に活動できるよう引き続き保育環境・工夫に努めます。丁寧なみとりや援助について職員間で共通理解をしていきます。



基本姿勢

- 幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。
- 公文書收受、発送、処理を適切に行っている。
- 一人一人の子どもの人格を尊重した教育・保育について共通の理解をもっている。

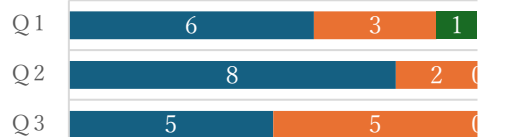
個人情報や公文書などの取り扱いについては今後も慎重に取り組んでいきます。3の項目については職員間で共通の理解を深めていきます。



施設設備

- 園舎・園庭の施設設備の安全点検を計画的に行っている。
- 遊具・用具・教材等を活用しやすいように整理・保管している。
- 災害や不審者等に対応する周知な配慮を行っている。

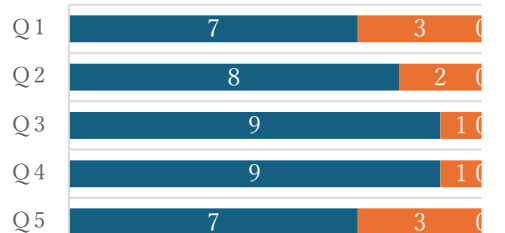
避難訓練など計画的に取り組んでいるが、職員間の役割についてさらに具体的に話し合い掲示するなどして定着できるようにしていきます。



家庭・地域・社会との連携

- 地域や他校種との年間交流計画は、教育目標や課題に添ったものになっている。
- 地域の様々な人と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助、支援を行っている。
- 担当者同士が打ち合わせや活動の振り返りを行い、互恵性のある活動になるように工夫している。
- 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。
- 一時保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めている。

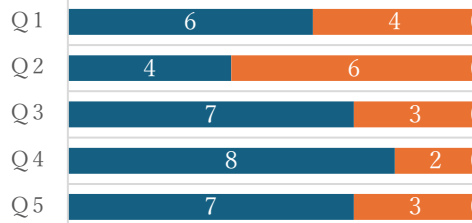
園児数が少ないこともあり、保護者との連携が概ねできている。交流計画や一時保育については担当以外が把握していない様子が見受けられるため、園内でねらいや報告をしっかりと行うなどして周知していきます。



経営・組織

- 1、職務内容や情報の共有方法が明確で、共同できるよう体制になっている。
- 2、職員を適材・適所に配属し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっている。
- 3、各種会議や打合せを適切かつ効果的に進めている。
- 4、町職員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく園の運営にかかわっている。
- 5、地域や保護者の意見を施設運営に反映している。

職員10名での適材・適所の配属や、係の仕事も分担をしています。課題を明確にし、よりより保育運営に向け話し合いや工夫が必要と感じています。



研究・研修

- 1、研究主題は、保育・教育目標の具体化につながるものとなっている。
- 2、園内研修は、適切に計画・運営されている。
- 3、職員のニーズを把握し、必要な研修の機会を確保している。
- 4、研究・研修の成果を日常の保育に活かし、幼児の育ちに反映させている。
- 5、研究会・研修会、講習会での内容を園内に還元している。

計画的に園内研修を進めたが、研修内容について見直し、日々の実践につながるようなものにしていくことが課題です。

